

未来を創る!



高森中央小通信 2025/11/27

友だちを思って行動する



11/26(水)高森町人権・同和教育授業研究会では、2年と4年の公開授業を行いました。

2年生は、「みーちゃんのランドセル」という物語を題材に学習しました。主人公やその友だちがクラスの中の不合理に立ち向かう姿を通して、今の自分を見つめ直し、「友だちを思って行動すること」について考えました。

また、4年生は「自分たちのくらしの中の『ふつう』」をテーマに授業を行いました。自分らしく生きることや、お互いを尊重することの大切さについて、深く学ぶ時間となりました。

両教室では、授業後、授業にひたむきに取り組んだ子どもたちに、参観者から大きな拍手が送られました。こうした各学年の学びを、12/5(金)授業参観で公開します。ご来校お待ちしています。

めざす児童像
ふるさとを誇り
人を大切にする児童



- ①道徳教育の充実
- ②人権教育の推進
- ③生徒指導の組織的対応
- ④特別支援教育の充実

めざす児童像② なかよく
「ふるさとを誇り人を大切にする児童」

本校では、校訓「かしこく なかよく たくましく」を基に「めざす児童像」を掲げ、その実現に向けた教育活動を行っています。「なかよく」では、「ふるさとを誇り人を大切にする児童」の育成を目指し、左図①～④の重点努力事項を中心に実践を重ねています。

特に「②人権教育の推進」については、12月の人権旬間を中心に各学級で授業を行い、様々な人権課題を通して「自他を大切にする心」を育んでいます。差別を許さない仲間として、学びを日々の生活へとつなげていくことが目標です。

また本年度は、子どもの発達科学研究所が開発した「いじめ防止プログラム」を全学年で実施しています。友だちとの関係における「間違った考え方(シンキング・エラー)」や「力の差(アンバランス・パワー)」について振り返りながら、いじめのないよりよい関係づくりについて考えを深めています。